

# 第18回埼玉県母性衛生学会総会・学術講演会プログラム

§ 日 時 平成13年10月26日(金) 午後1時から

§ 場 所 埼玉県県民健康センター 1F大会議室A B  
さいたま市浦和仲町3-5-1 電話048-824-4801

司 会 古 谷 健 一 幹事

1. 学会長挨拶 埼玉県母性衛生学会会長 竹 田 省

2. 一般演題(13:05~16:14)

【周産期管理・看護】(13:05~13:40)

座 長 山 下 恵 一(深谷赤十字病院)

1) 妊娠中期より入院管理をおこない無事生児を得た子宮筋腫合併妊娠の一例  
埼玉医科大学産婦人科 産科病棟  
紺清優美、宮原恵美、朝倉園美、金子やす子

2) 分娩後に長期の尿閉をきたした一症例  
獨協医科大学越谷病院産婦人科  
根岸秀明、濱田佳伸、佐々木奈奈、友部勝実、矢追正幸、星本和倫、堀中俊孝、榎本英夫、太田順子、林 雅敏、大藏健義

3) 子宮収縮抑制剤投与時の観察・管理に関する研究  
- 副作用の早期発見に向けて・重篤な副作用を起こした症例を通して -  
埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター  
山下美紀、川田文子、江本純子、岡部由香里、本間真紀、船江玲子、白石道子、松本幸子、村山敬彦、小林浩一、竹田 省

4) 産褥HELLP症候群を発祥し、人工透析に至った症例を経験して  
越谷市立病院4-2病棟  
坂巻まり子、瀧田洋子、栗田千恵子、新井としあ、小堀宏之、長沢 敏

5 ) 術後血栓予防管理をしたにもかかわらず肺塞栓を発症した 2 症例とその看護について

埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター

高橋ルミコ、伊東美喜、小原梨恵子、北浦志穂、白石道子、松本幸子、臼井真由美、小林浩一、竹田 省

【看護実習・学校教育】( 13 : 40 ~ 14 : 08 )

座 長 山 崎 章 子 ( 埼玉大学教育学部附属小学校 )

6 ) 産科病棟高校生ボランティアの実施報告

- 体験後アンケートの結果から -

川口市立医療センター

斎藤有香、山崎敬子、小林 薫、栃木武一

7 ) 実習終了レポートの考察から見た学生の関心とその分析

埼玉県立北高等看護学院

福島千江美、徳田真理子、神村美子

8 ) 学生の保健指導実施状況から授業展開を振り返って

- 助産診断技術学の授業展開の一考察 -

埼玉医科大学短期大学母子看護学専攻

榎原洋子、山崎トヨ、細川美千恵

9 ) 看護婦教育課程 ( 2 年過程 ) 学生の母性看護学に関する準備状況について

埼玉県立大学短期大学部看護学科

兼宗美幸、坂本めぐみ、瀬戸愛子

【保健システム・健康教育】( 14 : 08 ~ 14 : 36 )

座 長 武 井 恒 代 ( 草加市立病院 )

10 ) 女性保健システムの評価に関する研究 ( 第 1 報 )

- 女性保健システムの実態を中心に -

埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科

今井充子、渡部尚子、鈴木幸子、村山陵子、柳瀬真澄

11) 中学生への健康教育を実施して

- ピアエデュケーションの効果 -

埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科

柳瀬真澄、渡邊竹美、鈴木幸子、村山陵子、兼宗美幸、坂本めぐみ、瀬戸愛子、渡部尚子

12) 産婦人科施設における女性へのヘルスプロモーションに関する研究

- 第1報 産婦人科医療施設における女性の短期の健康教育に対する希望 -

埼玉県立大学短期大学部看護学科

瀬戸愛子、坂本めぐみ、兼宗美幸

13) 産婦人科施設における女性へのヘルスプロモーションに関する研究

- 第2報 産婦人科医療施設における女性の長期の健康教育に対する希望 -

埼玉県立大学短期大学部看護学科

坂本めぐみ、瀬戸愛子、兼宗美幸

### 【母性・父性・その他】(14:36~15:11)

座長 山崎トヨ(埼玉医科大学短期大学)

14) チャイルドシート着用に対する母親の認識

- NICUと産科病棟を比較して -

川口市立医療センター

会田朋子、鈴木カツミ、染野由美子

15) 患者の満足するケアを共有するために

- ある切迫早産の事例を通して -

さいたま市立病院産科病棟

徳永幸恵、永澤規子、福井谷達郎

16) カンガルーケア導入報告

大宮赤十字病院3病棟2階未熟児室

大森美代子、尾崎美樹、小林淳子、斎藤和子

17) 父親の育児参加のニーズに向けての考察

- 両親学級の取り組みを通じて -

埼玉社会保険病院三階北(産婦人科)病棟

奥瀬忍、鷺見和子、松田久子、田中義子

18) 対児感情評定尺度による妊婦の母性意識とその夫の父性意識についての調査  
大和産婦人科

池田佳子、渡辺昌子、小峰富美子、元山宏美、酒田景子、蛭田亜紀子、倉田あゆみ、藤井加奈、柏葉子、星本和種、星本和倫、星本幸男

【育児支援・産褥指導】( 15 : 11 ~ 15 : 46 )

座長 小田切房子(埼玉県立大学短期大学部)

19) 当院における子育て支援活動の実際

- カンガルークラブの活動から -

木野産婦人科医院<sup>1</sup>、こうぬまクリニック<sup>2</sup>

嵯峨芳子<sup>1</sup>、松村善子<sup>1</sup>、木野秀郷<sup>1</sup>、鈴木仁史<sup>2</sup>

20) 医療・保健・福祉の連携を通じ、育児支援が行えた一症例

- 精神分裂病である褥婦との関わりから -

埼玉社会保険病院三階北(産婦人科)病棟

佐々木恵子、松田久子、田中義子

21) 当産婦人科病棟における電話訪問の実態調査報告

獨協医科大学越谷病院産婦人科病棟、産婦人科

手島幸代、喜多川美代子、別所由喜子、里館真理子、神尾加代子、佐藤澄子、大藏健義

22) 分娩後1ヶ月から12ヶ月における不安や悩みの内容と時期についての調査

大和産婦人科

渡辺昌子、池田佳子、小峰富美子、元山宏美、酒田景子、蛭田亜紀子、倉田あゆみ、藤井加奈、柏葉子、星本和種、星本和倫、星本幸男

23) 地域に求められる母乳育児支援の展開

- 教室より自然派生した母乳育児支援グループの発信から -

日本助産婦会埼玉県支部大宮助産婦会まざーずくらす実行委員会

山田美津枝、駒林千春、関岡由美子

【育児問題・虐待防止】( 15 : 46 ~ 16 : 14 )

座 長 栢 木 武 一 ( 川口市立医療センター )

24) 「育児ノイローゼ」と「夜泣き」「マニュアル志向」について

中島産婦人科医院

桧垣久恵、中島 洋

25) 民間子ども虐待防止電話相談を利用する母親の主訴と電話相談の予防的役割の検討

埼玉子どもを虐待から守る会

渡邊好恵 ( 埼玉県立大学短期大学部 )

26) 母親が乳幼児を叩く行為を考える

こうぬまクリニック<sup>1</sup>、木野産婦人科医院<sup>2</sup>

鈴木仁史<sup>1</sup>、木野秀郷<sup>2</sup>、嵯峨芳子<sup>2</sup>、古川はるこ

27) 当病棟における乳幼児虐待防止のための検討

防衛医科大学校病院産科病棟

藤本真由子、晴山路子、菊地まゆみ、佐藤節子

3. 総 会 ( 16 : 14 ~ 16 : 30 )

1) 埼玉県母性衛生学会役員について

2) 平成12年度埼玉県母性衛生学会収支決算について

3) 監査報告

佐 藤 辰 之 監事

4) 平成13年度埼玉県母性衛生学会予算(案)について

5) 埼玉県産婦人科医会会长挨拶

柏 崎 研 殿

#### 4. シンポジウム(16:30~18:30)

テーマ 「児童虐待に関わる諸問題と母子保健対策」

座長 大藏 健 義(獨協医科大学越谷病院)

座長 渡部 尚 子(埼玉県立大学保健医療福祉学部)

##### 1) 埼玉県における母子保健の取組

埼玉県健康福祉部こども家庭課

母子保健担当 渡辺 夕 卫 子

##### 2) エモーショナルサポートの問題点

埼玉医科大学総合医療センター産科病棟

助産婦 本間 真紀

##### 3) 小児科医の立場から

峯小児科 峰 真人

##### 4) 開業助産婦の立場から

はとがや助産所 清水 須美

##### 5) 助産婦サポートシステムについて

深谷赤十字病院

助産婦 田島 恵子

##### 6) 埼玉県児童相談所における児童虐待の取り組みと課題

埼玉県中央児童相談所

地域相談担当 藤井 東治

#### 5. 閉会

埼玉県母性衛生学会副会長 菊池 義公

一般演題の講演時間は1題6分、質問1分でお願いします(時間厳守)。

スライドプロジェクターは1台用意します。一般演題のスライドは10枚以内でお願いします。

産婦人科医師には、日本産科婦人科学会研修受講フルシール及び日母研修受講シールを発行します。

学会会員は、参加費及び年会費として、合計2,000円を当日頂戴します。

学会会員以外の方は、学会参加費として、1,000円を当日頂戴します。